

## 災害発生前に知っておこう！

### 避難時の心得

#### あらかじめ安全な避難経路を確認

狭い道、塀ぎわ、川べり等は避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



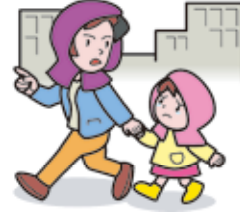
#### 正確な情報収集と早めの行動

ラジオ、テレビなどで情報を確認し、危険を感じたら早め行動しましょう。



#### 高齢者、子供、病人を優先

手をつないで避難。隣近所で助け合いましょう。



#### 持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



#### 車を使わず、歩いて避難

車での避難は渋滞を引き起こし、緊急自動車の妨げになります。徒歩で避難しましょう。



#### はきなれた底の固い靴を



長ぐつは水が入るとかえって危険です。はきなれた底の固い靴で避難をしましょう。

#### 液状化現象にご注意を

地震の揺れや、液状化による建物や塀の倒壊、または道路の損壊により、使用できない避難路が発生する可能性があります。鳴門市は、液状化の危険度が高い地域であることから十分注意する必要があります。



### 津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

|       | 予想される津波の高さ         |                | とるべき行動                                                                                | 想定される被害                                       |
|-------|--------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
|       | 数値での発表<br>(発表基準)   | 巨大地震の<br>場合の表現 |                                                                                       |                                               |
| 大津波警報 | 10m超<br>(10m<高さ)   | 巨大             | 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 | 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。                |
|       | 10m<br>(5m<高さ≤10m) |                |                                                                                       |                                               |
|       | 5m<br>(3m<高さ≤5m)   |                |                                                                                       |                                               |
| 津波警報  | 3m<br>(1m<高さ≤3m)   | 高い             | ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！                                                        | 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 |
| 津波注意報 | 1m<br>(20cm≤高さ≤1m) | (表記しない)        | 海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり、海岸に近づいたりしないでください。                | 海の中では人は速い流れに巻き込まれます。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。      |

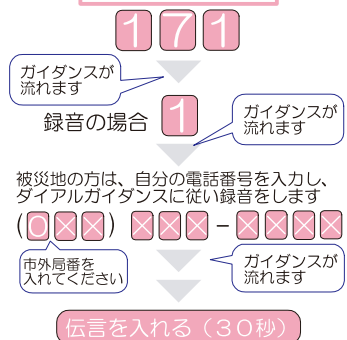
※ 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちに避難しましょう。

### 緊急時の連絡先

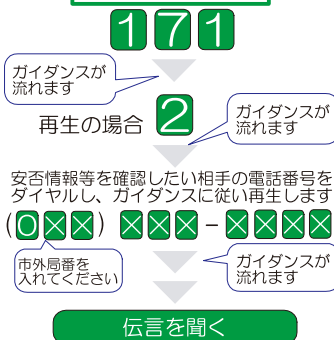
| 災害時の連絡先 | 火災・救急・救助                      | 事件・事故            |
|---------|-------------------------------|------------------|
|         | 消防<br><b>119</b>              | 警察<br><b>110</b> |
|         | 鳴門市災害対策本部<br>088-684-1330 (代) |                  |
|         | 鳴門市消防本部<br>088-685-2009 (代)   |                  |

### 災害伝言ダイヤル

#### 伝言の録音方法

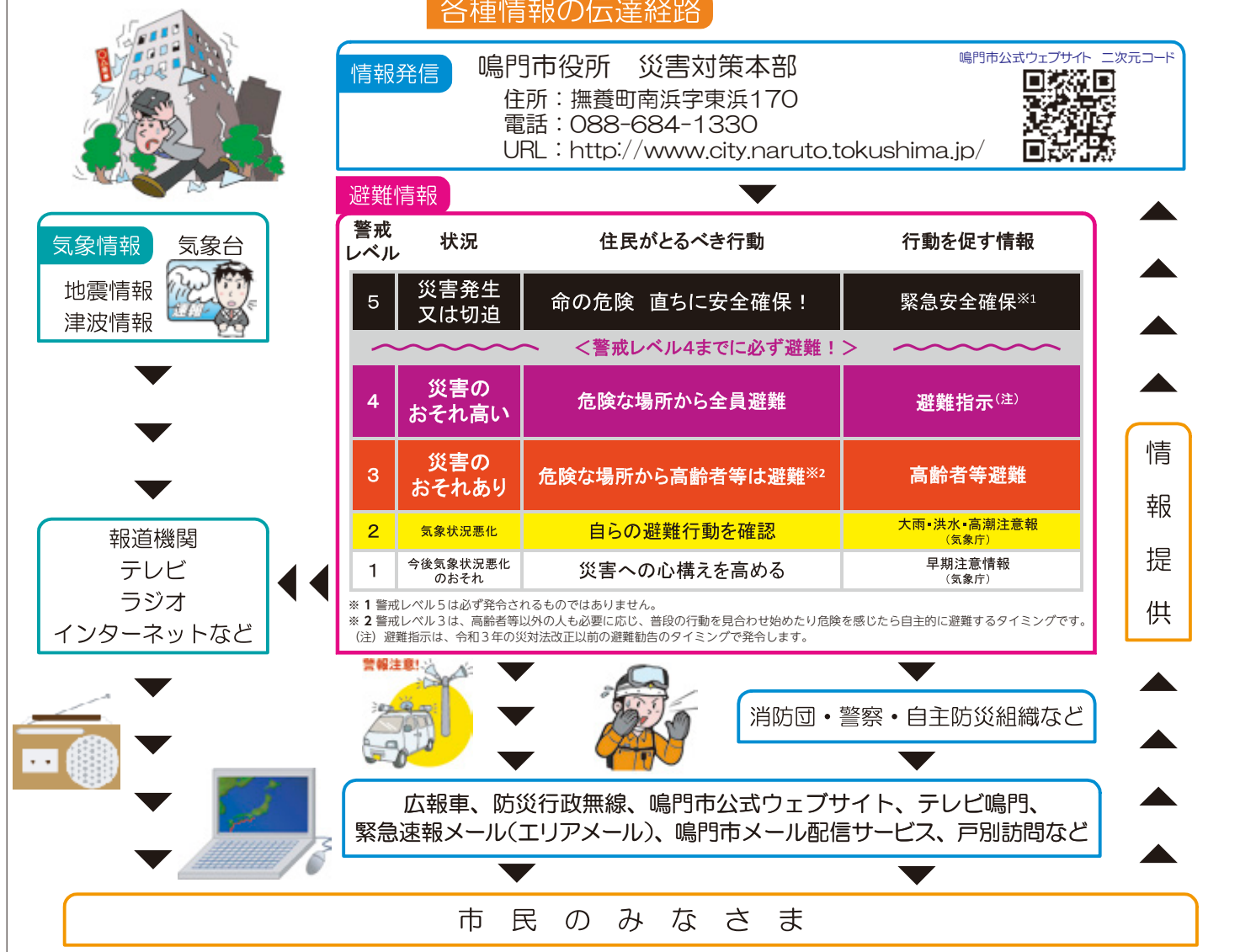


#### 伝言の再生方法



## 災害が発生したら！

### 各種情報の伝達経路



### 知っておこう！！

#### ■『避難場所』とは？

避難場所とは災害発生時などで人々が一時的に避難する場所であり、津波発生時は「津波避難ビル」と「津波避難場所」を避難場所としています。避難場所は、土砂崩れ、地盤沈下、液状化などによる破損・倒壊災害のほか、火災などによっても使えなくなる場合があります。避難場所は1カ所に限らず複数の場所を事前に確認しましょう。また、避難の際に、危険箇所となるような場所をあらかじめ確認しておくことも大切です。

#### ■『津波到着予想時間』は？

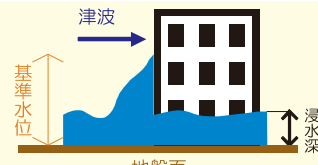
南海トラフ巨大地震の発生により、海域を伝播してきた津波が初期水位から+20cmの変化が生じるまでの時間は、鳴門市内の主な海岸・漁港で以下のとおりです。

◆ 里浦海岸 48分 ◆ 栗田漁港 61分  
(2012年10月31日 徳島県公表)

#### ■『津波浸水想定』とは？

「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。また「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。徳島県では、2012年8月29日に国が公表した「南海トラフの巨大地震」の震源モデルをもとに、県管理河川や最新の地形データ等を加えた徳島県最終的な「津波浸水想定」を公表しました。【県ホームページ】 <http://anshin.pref.tokushima.jp/>

※マップ面「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に、建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えた水位です。



### わが家の防災メモ

|                      |  |
|----------------------|--|
| 避難先（親類・避難場所など）       |  |
| 家族がはなればなれになったときの集合場所 |  |
| 避難路と危険箇所             |  |